

第11回

『国際化の中の日本の大学教育・研究の現状』

～向かうのは成熟期か衰退期か～



講師 武村 秀雄 氏

経歴

- ・元高等教育国際交流協会専務理事
- ・元日本英語検定協会 一級検定面接員
- ・桜美林短期大学教授（ビジネス英語、アメリカ研究）
- ・桜美林大学教授（教職課程）
- ・桜美林大学大学院（大学教育&アドミニストレーション研究）
- ・2017年から同大学名誉教授

講演概要

年度ごとに、多くの大学が年内に合否が出る総合型選抜と推薦型選抜で入学者を確保することに汲々としている状況であり、今後も「人口主義文化」が続くならば大学数と少子化のバランスが崩壊することは明らかであることから、大学の未来像として「衰退期」への一途を辿ること必至である。

大学の教育・研究理念や学位の意味を明確にし、それに基づいて学士、修士、博士課程のミッションに則った「教育・研究・社会貢献」の目標や方針の再構築が重要となる。大学人（教育職員・事務職員の協働作業）の英知を結集して社会の変化に対応し、自ら変革し、社会の発展に貢献する本来の大学になることを熱望したい。そのためには、ゆっくりと検討課題として先送りする時間の余裕はない。

10月19日(土)

13:30～15:30

国際交流ラウンジ

市川市八幡2-4-8 3F

e-mail: info@iia21.jp

TEL: 047(332)0100

- 会場参加 先着20名 オンライン人数制限なし
- 参加費 IIA会員無料 非会員500円
- 申込方法 上記国際交流ラウンジあてe-mailまたは電話で申込下さい。締切は10月12日(土)
オンライン参加希望は必ずe-mailでお申込み下さい